

北陸新幹線「越前たけふ駅」周辺での 越前市版スマートシティ形成に向けた官民連携(PPP)プロジェクト

お問い合わせ
戸田建設(株)大阪支店 越前たけふ駅周辺まちづくり PJ 室
担当：木内 TEL：06-6531-5022
※本資料の内容は2021年10月現在のものであり、今後計画が変更になる可能性があります
※無断転載を禁じます

事業の経緯と計画地及び越前市の選択

越前市は、2024年(令和6年)春に開業予定の北陸新幹線「越前たけふ駅」周辺における、官民連携(PPP)プロジェクトによるまちづくりを行うためのパートナー企業(民間開発事業者)を公募し、戸田建設株式会社を選定。

令和元年度 南越前駅周辺まちづくり計画 策定
(フォレストシティ&越前市版スマートシティをコンセプトに設定)

令和2年度 新幹線駅周辺まちづくりガイドライン 策定
(新幹線駅周辺の開発ルール等を設定)
越前市オープンイノベーション推進ビジョン 策定
(環境・エネルギー領域など成長分野の産業集積を目指す)

令和3年度 サウンディング型市場調査 → 関心示す企業を確認
パートナー企業(民間開発事業者)公募・選定

市とパートナー企業がアプローチしていく第一期の進出企業候補

生産施設・研究施設等	次世代リチウムイオン電池の生産拠点 官民連携(PPP)プロジェクトによるまちづくりの中で新工場を先行して推進
商業施設	大型商業施設の誘致 (規模や店舗構成など整備内容については進出候補と協議中)
交流施設	サッカー練習場・クラブハウスの立地を検討 (グラウンドの規模など整備内容について協議中)

越前市の概要

- ・福井県のほぼ中央に位置し、市の中央を北陸自動車道と国道8号が縦断
- ・人口約8万人、面積約230km²
- ・奈良時代に越前国の国府が置かれた歴史ある市
- ・越前和紙、越前打刃物、越前筆笥が国の伝統的工芸品として登録
- ・製造品出荷額等は県内1位、北陸2位のモノづくり都市

計画地の概要

- ・北陸新幹線「越前たけふ駅」の周辺約100haのエリア
- ・既存の交通結節点であるJR「武生駅」から東へ約2.7kmに位置
- ・主要幹線道路である国道8号線や、北陸自動車道「武生IC」に面する
- ・現況は大部分が農地(水田)

先行整備ゾーン(約2ha)
新幹線開業(R6年春)に向けて推進
ホテル(R6年春開業予定)と
飲食施設(R5年春開業予定)の立地が進行

道の駅/駅西交通広場/P&R駐車場(約600台)
開業予定時期：R5年春(新幹線開業の1年前)

約2.7km

武生IC

越前市

福井県

f-map.jp [許諾番号 PL1504]

事業コンセプト

Echizen-Takefu Innovation Valley

越前市の歴史や伝統、豊かな自然環境や文化を活かし、様々なイノベーションを生み出す機能や仕組みにより一人ひとりが快適に動き、暮らし続けられる、社会の変化に対応できる持続可能なまち



越前市が考える
まちづくりの
テーマ

- 自然と人との共生
フォレストシティ
- 未来にチャレンジ！
越前市版
スマートシティ

「越前市オープン
イノベーション
推進ビジョン」
による成長領域

- モノづくり
- 先端テクノロジー
- 環境・エネルギー領域

まちづくりコンセプトの具現化に向けた考え方

地域の歴史・伝統・自然・文化を活かしつつ、イノベーションを生み出す仕掛けづくり

1 産業

グローバル企業が求める
先進スマートシティ関連
技術基盤の実装

RE100

都市機能の脱炭素化に向けた
マイクログリッド整備

5G/6G

様々なデータ活用によりスマートな
サービスを提供可能なネットワークインフラ整備

MaaS

地域内外の移動を支える
スマートなモビリティ整備

2 まち

立地環境や交通アクセスを
最大限に活かした
ゾーニングや導入機能

先端産業

製造企業のグローバルな生産・供給体制を
牽引するマザー工場やR&Dセンター等を想定

交流拠点

暮らしを支える生活インフラとしての商業施設、
多様なイベントを開催できる集会施設等を想定

スマート農業

周辺の農地との調和や相乗効果を
生み出す植物工場等を想定

3 ひと

イノベーションを生みだす
地域資源を活用した
戦略的コミュニティの創出

越前たけふ
オープンイノベーションセンター

越前たけふ駅や「先行整備ゾーン」と一体となりまちの顔やショールーム機能となる都市空間を形成

「モノづくり×先端テクノロジー×環境・エネルギー領域」を軸に
地域内外の主体が集い、交流し、実証実験や新たなビジネス生み出す
コラボレーションスペースを兼ね備えたICTオフィス

・先端企業
・RE100
・5G/6G
・MaaS など

・伝統工業
・地場産業
・農業 など

・学び
・観光
・交流 など

新たな価値をここから
地域全体に発信

想定スケジュール(案)

21年度	1年以内	2~3年以内	3~6年以内	6~10年以内
	第1フェーズ	第2フェーズ	第3フェーズ	最終フェーズ
ソフト面	オープンイノベーション プラットフォームの構築	企業立地 (コア企業)	産業集積 (クラスター形成)	エコシステム形成
ハード面	官民連携プロジェクト立ち上げ	先端産業を中心とした拠点の整備		越前市版スマートシティ

2021/8/19
基本協定

2022/8 (予定)
推進協定
プロジェクト

事業実施計画作成業務
・地権者調整
・スマートシティ検討
・事業スキーム検討
・事業計画検討
・企業連携 ect.

手続き・基盤整備(スマートインフラ等)・施設建設
コア企業拠点整備
サプライヤー・イノベーション拠点整備

タウンマネジメント・ベンチャーキャピタル
・エネルギーマネジメント
・スタートアップ企業育成

進出を希望される企業やスマートシティ関連の主体と連携し、まちづくりを具現化